

座標: 北緯35度30分13.1秒 東経136度15分28.2秒

ウィキペディア

石道寺

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

石道寺（しゃくどうじ）は、滋賀県長浜市にある真言宗豊山派の寺院。山号は己高山。 作家井上靖が、小説「星と祭」の中で当寺の観音像の姿を村の若い娘に例えたことで知られる。

目次

歴史

文化財

交通

自動車

鉄道

歴史

旧木之本町の東方にある己高山（こだかみやま、923m）の山頂および西麓一帯には、古代から中世にかけて多くの寺院が建立され、天台系山岳信仰の聖地であった（「鶏足寺」の項も参照）。石道寺も己高山関連寺院の一つで、もとは現在地よりさらに1kmほど東の山中にあったが、大正3年（1914年）本堂を現在地に改築し、石道観音堂を合併し新石道寺が誕生した。寺は地区住民により管理されている。

文化財

重要文化財

- 木造十一面観音立像 - 像高173cm。平安時代後期の作とみられる穏やかな作風の像である。
- 木造持国天・多聞天立像
- 刺繍種子幡 14旒（りゅう）

交通

自動車

石道寺



所在地 滋賀県長浜市木之本町石道

位置 北緯35度30分13.1秒 東経136度15分28.2秒

山号 己高山

宗派 真言宗豊山派

札所等 近江西国三十三観音霊場 第11番

法人番号 3160005004267
(https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/henkorireki-johoto.html?selHouzinNo=3160005004267)

- 北陸自動車道木之本インターチェンジから15分。

鉄道

- 北陸本線木ノ本駅からバス井明神停留所下車徒歩10分。

「<https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=石道寺&oldid=65048443>」から取得

最終更新 2017年8月7日 (月) 21:33（日時は個人設定で未設定ならばUTC）。

テキストはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は利用規約を参照してください。